

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
電子カルテ II Electronic Health Record II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(DPC認定試験対策講座)	ICDコーディング I・II・電子カルテ I の履修者のみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医学一般の科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ICDコーディング I・II 電子カルテ I 医療秘書				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
医療業界は日進月歩であり、臨床も複雑化している。その中で病院業務もIT化により多様な医療事務の知識や実務が求められている。演習問題を中心に、現場で求められている医事課の仕事を理解し、日々変化する現場状況を踏まえながら学習を図る。				
授業の目標				
①ICDとDPCの関係を説明できるようにする。 ②DPC算定ができるようにする。 ③初級がん登録について説明できるようにする。 ④DPC学内認定に合格できるようにする。				
授業の方法				
補足資料を配布、ケースメソッドを活用し少しでも多くの演習問題を解くことにより、DPC算定の計算方法を理解する。ピアインストラクションにより初級がん登録の基礎学習を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①ICDとDPCの関係を比較・分析することができる。 ②DPC算定、初級がん登録業務の特徴を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	電子カルテとDPC			
第3回目	レセコンとDPC操作			
第4回目	DPCとICDコーディングの繋がり			
第5回目	DPC対象病院・対象疾患 ※(レポート 1)			
第6回目	DPC対象外薬剤			
第7回目	包括評価の対象と出来高払いによるもの 1			
第8回目	包括評価の対象と出来高払いによるもの 2			
第9回目	診断群分類コード14桁の構成			
第10回目	診断群分類・入院期間別点数(古川)			
第11回目	主要診断群(MDC)・請求パターン(古川)			
第12回目	厚生労働省病院調査について(DPC対象病院)			

第13回目	厚生労働省病院調査について（D P C 準備病院）	
第14回目	包括評価部分の算定 パターン 1（内科・診療所）	
第15回目	包括評価部分の算定 パターン 2（内科・一般病院）	
第16回目	包括評価部分の算定 パターン 3（内科・特定機能病院）	
第17回目	包括評価部分の算定 パターン 4（外科・診療所）	
第18回目	包括評価部分の算定 パターン 5（外科・一般病院）	
第19回目	包括評価部分の算定 パターン 6（外科・特定機能病院） ※（小テスト ①）	
第20回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 I （1～2）（耳鼻咽喉）	
第21回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 I （1～2）（血液内科）	
第22回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 II （3～4）（整形外科）	
第23回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 III （5～6）（眼科）	
第24回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 IV （7～8）（内分泌循環器内科）	
第25回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 V （9～10）（乳腺外科）	
第26回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 VI （11～12）（小児外科） ※（小テスト ②）	
第27回目	院内がん登録について	
第28回目	地域がん登録について ※（レポート ②）	
第29回目	臓器がん登録および活用法（古川）	
第30回目	D P C まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	分からないところがあれば積極的に質問している。
レポート	20%	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
D P C 請求NAV I（ケアアンドコミュニケーション）		
履修上の留意点・ルール		
授業を集中し、D P C 請求をよく理解する。P C 操作で分からないところは必ず質問すること。学内D P C 検定を受験する場合は必ず履修すること。		